

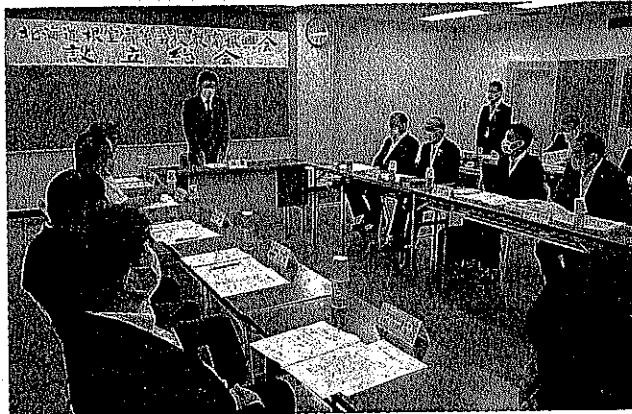
根室高校教育振興会が発足

初年度 ICT 教育環境を整備

根室高校の教育活動を充実し地域を担う人材育成につなげることを目的に、北海道根室高等学校教育振興会が26日、発足した。今年度は国のGIGAスクール構想に乗って生徒全員にモバイルPCを貸与するのをはじめ、教員用端末、授業用大型テレビなどを整備してICTを活用した学習環境を充実するほか、中高連携や高校支援の在り方を検討し、可能なものから実践していく。

生徒全員にモバイルPC貸与

振興会は、根室高校PTA、校務委員会、同教員会、市PTA、卒業生で組織するPTA連合会、根室商工会議所、根室市、市教委、市立小中



なで構成。

初めに石垣雅敏市長が「根室高校の学校教育目標の実現に向けて地元から後押しすることで、将来の根室のまなづくりを担う人材、各方面にははたたく人材が育つことを願っている。息の長い活動として振興会組織によって支えていきたい」とあいさつ。各機関、団体の代表者13人と事務局市教委の6人が出席し、開いた同日の設立総会で会則を議決し、役員を職名で決めた。

会長に根室高校PTA会長、副会長に苗穂町立会長と小中学校校長会会長、監事に苗穂町立会長と市PTA連合会会長を選任。顧問に市長、市議会議員、根室高校校長、市教委教育長を選んだ。

根室高校教育振興会の設立総会

初代会長となった平澤

根室高校PTA会長は「皆さまと共に、根室高校の教育環境の充実と後押しとなる活動に努めたい」と抱負を述べた。

振興会は、学校統合で根室市唯一となった後期中等教育機関である根室高校の教育活動を充実し、魅力化を図ることで地域を担う人材育成に資するのが目的で、初年度事業計画として、在校生全員にICT機器端末を貸与するほか、教員用の機器端末、授業用大型テレビ一式を整備する。1人1台貸与される生徒用端末は卒業時に、使ってきた本人に贈呈する。

事業費は根室市の負担金を充てる。今年度は、国のGIGAスクール構想に基づき交付金を活用。来年度4月の新入生の端末購入を含めて約1

億300万円を事業費で支援をいたくことにして見込んでいる。すでに導入する機種の校り込みを終えており、振興会は年内の整備を目指して作業を進めていく。

強力な支援組織ができたとを受けて自治体関係者、根室高校校長は「多くの関係者の尽力で多大なる

ご支援をいただくことに感謝し、根室のまなづくりの中心を担う人材育成を使命に、役割を果たしていきたい」と謝意を込めて、地域に愛され、信頼される学校づくりにあらためて決意を示した。

(桐澤)